

第二次図書館基本構想実施状況(R6～)

掲載頁	大項目	中項目	小項目①	小項目②	令和6年度実施状況	令和7年度以降の予定	備考
49	6-1 東大阪市ならではのサービス	6-1-1 各館の特色	永和図書館：よりアクティブに働くために	「はたらく」を観点としたNDCによらないテーマ配架を取り入れ、働く人たちが容易に知識を手に入れられるコーナーを設置する。 会社員、起業したい人だけでなく、NPO等のソーシャルビジネスを支援するために、NPO設立に役立つ資料もコーナーの中に配架する。	商工会議所との連携を進めて、各団体・企業から関連資料を入手する道筋を検討中。また、商工会議所主催のイベントに関連する資料の展示の実施に向けてその方法を検討中。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
49				あらゆる人が「はたらく」ために学べる環境を整えられるよう検討する。	－	－	具体的な施策は、「6-3 各世代へのサービス」や他施策に含む
49				東大阪市の特色「モノづくり」を市民に楽しく知ってもらえる展示等を行う。	NPO法人東大阪地域活性化支援機構をはじめ、地域の各団体や企業と連携して、市民向けの展示やワークショップ等の啓蒙活動の実施について検討する。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
49				子どもたちがモノづくりに親しむ環境や、新たなビジネスを生み出したい人々が気軽に試作品等のモノづくりができる環境をめざす。	7月に商工会議所の「モノづくり企業ネットワーク構築事業第1回交流会」に参加。 NPO法人東大阪地域活性化支援機構との連携や商工会議所との連携における地域の企業や団体との打合せを始めた。その後継続的に開催し、子ども向けのワークショップ等の具体化に向けて検討中。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
50			花園図書館：東大阪ならではの文化・スポーツを感じる	スポーツに関するコレクションを充実、スポーツを楽しむ人々に有用な情報提供を行うなど、図書館がスポーツを様々な面からサポート。 「スポーツのまち 東大阪」の記録や資料を収集、保存し、後世に伝えていく。	7月：棚内に「ラグビーの本」コーナー設置。9月～11/4:ラグビー週間に合わせ1F入口メイン展示として「I♡ラグビー」を展開。11/20～：1Fに常設の「ラグビーコーナー」設置。ラグビー関連本を集約展示するとともにラグビー関連ポスター掲示、チラシを収集設置。	「ラグビーコーナー」を充実、拡大する。ラグビー関連資料（ポスター・チラシ類含む）を漏らさず収集。関連講座の実施。	
50				隣接する公園とのつながりを意識した自然に関する資料を収集、配架、スポーツや文化・芸術等の特徴を踏まえた資料収集や展示等を通じて、文化スポーツの発展に寄与するとともに、読書に馴染みのない人に、読書への興味を持ってもらうきっかけとする。	美術センターとのコラボ展示を実施（5月～：近鉄電車関連展示。11月～：バンクシー関連展示） ラグビーはもちろんサッカー（J3）、野球（関西独立リーグ）、関連資料を重点的に収集開始。市内書店紹介（9/25～11/4：「本のある暮らしin花園」展示を実施）	美術センターとのコラボ展示を継続。令和6年度に引き続き、ラグビー・サッカー・野球ほかスポーツ関連資料（チラシ・パンフ類含む）の収集強化をはかるとともに花園中央公園の花々、生物などに関連した資料収集を進め、コーナー設置。	
50				市民の憩いの場の実現として、資料閲覧を目的とするだけでなく、学生が勉強を目的として来館できるよう、学習スペースを設置する。	－	－	6-3-4に集約
50				司馬遼太郎資料コーナーだけでなく郷土資料の所蔵量を活かした資料提供・展示を行う。	文化財課出張展示に合わせ関連展示実施（～6月：松原宿。10月～：河内木綿。）令和7年2月：1Fにて「菜の花忌」に合わせて司馬遼太郎関連資料展示。司馬遼太郎未整理資料を整理中。	文化財課と連携した関連展示を継続。市内遺跡、史跡などの関連した講座、展示（2Fに展示コーナーを新設し、テーマを変え、定期的な展示）を実施する。	
50				蔵書のストックヤード機能として、資料保管の側面から中央館を補完する。	基本図書の複冊本、参考図書、郷土・行政資料を収集、所蔵。	白書類など図書館として所蔵不可欠な基本的関連資料を収集。	

掲載頁	大項目	中項目	小項目①	小項目②	令和6年度実施状況	令和7年度以降の予定	備考
51	6-1 東大阪市ならではのサービス	6-1-1 各館の特色	四条図書館：将来をつくる子どもたちを、まちのみんなで育てる	新図書館では子育て世代や子どもたちが、自然と来たくなる、居心地の良い明るく開放的な空間をめざす。	－	－	7-2に集約
51				子どもの声や親子の会話を許容すると同時に、子どもに関わる様々な人を含め、誰もが訪れたいくなるよう、閲覧エリア内でのゾーニングを工夫する。	－	－	7-2に集約
51				多様な人が活動に関われるよう、多世代による児童サービス（読み聞かせ等）のボランティアを募り、子どもとの関わりや活動に関わる人々の交流を促す事業を実施する。	「はじめての読み聞かせ講座」を実施。既存のボランティア団体を紹介するパンフレットを作成、配布。見学希望が入るようになってきている。	子ども読書週間に、ボランティア団体と協同し、「図書館で遊ぼう」を実施。	
51				収集資料については、児童書の割合を大幅に高くし、その上で、子育て本、ティーンズのための本、子どもに関わる全ての世代の人たちに役立つ本を中心に選書し、「子ども」というテーマをより強く推し進めた図書館づくりを行う。		移転を踏まえ、収集拡大はしていないが、新四条に必要な資料は収集を継続。	
51				複合施設にある関連部門と連携し、誰もが訪れる多目的な施設環境により、相談へのハードルを低くすることをめざす。	－	－	7-1に集約
51				複合施設となるため、図書館外にも本を持ち運びやすいICタグなどの資料管理の方法を導入費用の効果検証も行いながら検討する。	－	－	6-2-5に集約
52				児童相談所等との複合化にあたっては併設が検討されている子育て支援機能との連携も必要。図書館を目的としない来館であつてもついでに訪れやすい雰囲気づくりをはじめ、相乗効果を生むサービスを検討する。	－	－	7-1に集約
52		6-1-2 全域サービス	電子図書館	さまざまな機会を活用して使い方講座等を行い、電子図書館を知ってもらう工夫を行う。	5月：東大阪市民ふれあい祭りにて環境部と連携してのコラボ展示および体験会を実施。 10月：まちライブラリー@東大阪市民文化創造館の植本祭での出張図書館にて体験会を実施。 10月：近畿大学での体験会実施に向けて中央図書館と協議。	市内のイベントや大学等での体験会を計画。	
52				小中学生の利用においては、児童・生徒へのＩＤ付与を継続すると同時に、使えない状況にある児童・生徒のフォローやサポートを行う。	学校に対し、児童・生徒に配布している端末で簡単に電子図書館を利用できるよう、自動ログインの設定方法のマニュアルを送付している。また、パスワード忘れや設定間違いにより利用できない状況となった場合の対応についても、案内を行っている。	図書館教育研究会等での教職員向け電子図書館使い方講座の実施を検討。	
53			移動図書館	ニーズをふまえた有効な方法や新たな付加価値の創出も含めた見直しを検討する。			
53			出張図書館	図書館サービスを市全体に拡充していくため、出張図書館の対象先の拡充を検討する。			
53			関連施設【学校図書館】	学校司書連絡会を通じたサポートを継続的に実施。	学校司書連絡会に参加し、学校図書館の活用が促進されるように学校司書と交流。		
53				学校司書に書誌データの作成方法の研修を行うなどのサポートを実施し、学校図書館のデータ整理を支援する。	3月の統括館長研修のテーマとして検討。		
53				学校に本を配送するサービスを検討し、学校図書館とのネットワークをより強めていく。			
54			関連施設【府立図書館・近隣自治体図書館】	市域全体として資料利用の機会を提供するため、府立図書館及び近隣10市の図書館が利用できることを周知する。			
54			関連施設【大学図書館】	市民に公開されている大学図書館の利用情報や講座情報を周知し、市民の学び・生涯学習に役立つ情報を提供しよう努める。 さらに、大学生へのアプローチとして、大学構内での図書館利用案内や、連携イベントを実施するなど、利用の促進も図る。			
54			関連施設【その他】	「家庭・地域文庫」5文庫、東大阪市民文化創造館内「まちライブラリー」その他、司馬遼太郎記念館、田辺聖子文学館などの施設において、それぞれの施設が持つ魅力を活かした連携方法を検討する。	10/19まちライブラリー@東大阪市民文化創造館の植本祭で、東大阪子どもと本・おはなしネットワークと連携して出張図書館を実施。	司馬遼太郎記念館、田辺聖子文学館に図書館ポスター、チラシを常設掲出、配布を依頼。合わせてそれぞれの施設関連ポスター、チラシなどを館内にて掲出、配布。	

掲載頁	大項目	中項目	小項目①	小項目②	令和6年度実施状況	令和7年度以降の予定	備考
55	6-2 基本サービス	6-2-1 資料収集・収蔵（蔵書）	資料の質的な充実	選書と棚づくりを通じて、市民の好奇心を刺激し、様々な本と出会うことができ、思わぬ読書体験が生まれるきっかけづくりを行う。	花園：定期的（毎週）に選書会議を実施。さまざまな視点でのテーマ展示を実施。棚内面陳を増やした。	花園：選書会議、継続実施。各ジャンル棚に展示場所を設け、定期的に内容を変え展示。	
55			配架場所の分散化	市全体の蔵書を効率的に保管・活用していくため、団体貸出の利用を促進、家庭・地域文庫への貸出を増やし、市立図書館の蔵書の分散配置を継続して行う。 市民の身近に本を置きつつ、資料の配架・収容能力の実質的な拡大に努める。			
55			寄贈資料の活用	配架できない本は個人や組織等が運営する図書館・文庫等にお譲りし、積極的に活用していただくことを検討する。 市民からの寄贈本を有効に活用することで、資料費を活かしつつ、市全体としての資料の充実・活用促進を図る。			
55			計画的・効率的な実施	資料の収集・所蔵についてのサービスの実施にあたっては、資料の増加ペースと、配架、保管するためのスペースを把握し、今後の見通しを立て、図書館として必要と考えられる資料を計画的に収集・保管していく。			
56		6-2-2 閲覧・貸出・予約・レファレンス等	閲覧環境の充実	四条図書館の再整備により、閲覧スペースの十分な広さの確保に努めると同時に、居心地よく滞在できる閲覧環境を整える。	－	－	7-2に集約
56			貸出・返却機会の拡充	出張図書館の対象先の拡充を検討するなど、貸出・返却機会の充実に努める。			
56				予約受け取り専用のカウンター施設を設置するなど、新たな方法での貸出・返却機能の拡充を検討する。			
56			レファレンスサービスの充実	レファレンスサービスを気軽に利用いただけるよう図書館員からの来館者等への積極的な支援が必要。利用者の要望に応じることができるよう、図書館員の資質向上に努める。	レファレンス協同データベース（国立国会図書館）への登録。	レファレンス協同データベース（国立国会図書館）への事例投稿、活用。	
57			団体貸出の強化	団体貸出サービスを継続して実施。さらに、各種団体等へ団体貸出を紹介し、その効果的な使い方を提案し、利用を促進する。	学校団体への活用案内を継続するとともに、市関連施設等にも案内し、利活用の促進を図る。		
57		6-2-3 読書バリアフリー	大活字本・点字図書・ＬＬブック・デージー図書の収集	バリアフリー図書専用コーナーとして、館内に分かりやすく配置。利用に関する案内や利用者への支援の充実を図る。	「りんごの棚」設置や読書バリアフリー図書展示などを検討する。		
57				デージー図書は、サビエ図書館からダウンロードするなどのほか、市内のボランティア団体で作成していただいていることから、ボランティア団体への支援の充実を図る。	伊藤忠記念財団の「わいわい文庫」を申し込み、マルチメディアDAISY図書の収集を図る。		
58			貸出・郵送および対面朗読サービス	図書館への来館が難しい障害者や高齢者のために、施設への団体貸出や、宅配等のサービスを実施する。 図書館の本や、利用者ご自身が持参された本を読み上げる対面朗読サービスも、継続的に実施する。	施設への団体貸出や宅配サービスを継続する。 また、やまびこ様の協力のもと対面朗読サービスも継続する。		
58			読書バリアフリーとしての電子図書館利用促進	バリアフリーの側面からも電子図書館の利用を促す。 資料を収集するだけでなく、まずは障害者の方にその存在や利便性を知ってもらい、読書の機会が開かれていることを伝える。市の所管課とも連携し、障害者の方への電子図書館案内の機会を増やす。	10/13ディスレクシア講演会を実施。		
58		6-2-4 情報発信・PR等の強化	－	SNSなど様々な媒体を活用し情報発信、PRを強化する。	電子図書館や四条図書館のイベント情報をX（旧Twitter）やLINEで発信。		
58			－	パンフレット・ポスター等の公共施設等への配置、広報への定期的な情報発信等を行うと同時に、各地域を巡回する移動図書館や関連施設等の全域サービスの提供先でのPRも積極的に行う。	近鉄最寄り駅へのパンフレット等、配布設置を近畿日本鉄道株式会社へ依頼。		
58			－	大学等の講座において図書館及び電子図書館サービスを紹介するなど、新たな利用の拡充に努める。	市内大学に対して、電子図書館のポスター・リーフレットの配架を依頼。		
59		6-2-5 ICタグによる資料管理	－	四条図書館でのICタグ導入を検討。 他館におけるICタグ導入など、市全体としてのIC機器配置計画や、それによる費用対効果等の検証を行いながら、導入検討を進める。			

掲載頁	大項目	中項目	小項目①	小項目②	令和6年度実施状況	令和7年度以降の予定	備考
60	6-3 各世代へのサービス	6-3-1 乳児期・幼児期：ブックスタートからはじまる本の世界との出会い	ブックスタートからはじまる本の世界との出会い	4 か月児健診に訪れた親子を対象に、絵本と子育てに関するパンフレット、そして市立図書館の利用案内等を手渡し、絵本の読み聞かせについてアドバイスを継続的に実施する。 また、ブックスタートボランティアに向けては研修会を継続的に実施する。	4 か月児健診で継続して実施。R6年9月末時点でブックスタートバックを1,429冊配布。		
61			楽しむ・学ぶプログラム	絵画・工作・歌・手遊び・体操等を親子で楽しむ・学ぶプログラム、絵本等の読み聞かせを定期的開催する。	令和5年度より、月に1回、ベビータイムにミニ工作を導入。		
61				新四条図書館では、絵本等の読み聞かせを年齢層別に（特に、現在実施が難しい乳児等低年齢層向け）、かつ高頻度での開催をめざす。	月2回のベビータイムに加え、年3回、土日開催のベビータイムスペシャルをスタート。	ベビータイムスペシャルについて年4～6回への拡大を計画中。	
62		6-3-2 子育て世代と子どもに関わる人：誰もが子育てしやすい環境を	子どもが声を出しても良い環境づくり	新四条図書館においては、全体として子どもたちの声を許容する空間づくりで、親子が過ごしやすい図書館とする。	－	－	7-2に集約
62			子育ての助けになる資料・情報等の収集・集約	子育ての助けになる資料・情報等として、四条図書館では育児に関する専門図書・資料と市内の子育て情報を中心に収集を強化すると同時に、3館2分室に散在する既存の資料を集約する。	移転を踏まえ、収集拡大はしていないが、新四条に必要な資料は収集を継続。	移転を踏まえ、収集拡大はしていないが、新四条に必要な資料は収集を継続。	
62			子育てに関する情報の発信	保護者向け講習会として、各種プログラムを実施し、両親や保育者が、子どもの年齢に合った資料の選び方や付き合い方、子どもの言語・読解能力の発達における読書・読み聞かせの重要性、読み聞かせの実践方法などを学ぶ場を提供する。	ベビータイムスペシャル第1回「初めての絵本の選び方」（実施済）、第2回「体を使った遊び」（予定）、第3回「新米パパ・ママ講座＋リトミック」（予定）		
62				親世代だけでなく様々な人を対象として、教育に関する学問・理論、環境、文化、子どもとの関わりの中で感じる日常的な悩みや疑問など、課題解決につながる多様なジャンルの資料を収集し提供する。	移転を踏まえ、収集拡大はしていないが、新四条に必要な資料は収集を継続。	移転を踏まえ、収集拡大はしていないが、新四条に必要な資料は収集を継続。	
62				乳児、幼児を対象としたプログラムの実施やおはなし会の開催、保護者向けの講習会などは休日の開催に努めるなど、ニーズに沿って開催時期や頻度を調整する。	土日開催の「ベビータイムスペシャル」をスタート。	ベビータイムスペシャルについて年4～6回への拡大を計画中。	
63		6-3-3 学齢期：成長とともに本と出会い、豊かに学び、育つ	学校図書館での館外資料の利用	団体貸出の仕組みを活用し、市立図書館の多数の資料を一定期間、月単位で貸し出し、定期的に入れ替えることで、学校図書館の蔵書を充実させ、実用性を高める。			
63			本と利用者をつなぐサービス	教職員や児童・生徒の本の選択を支援し、ブックトークや読み聞かせ、ストーリーテリングのような本に親しむプログラムを行うなどのサービスの充実をめざす。	6月に出張講座として大蓮小学校でブックトークを実施。11月にも実施予定。		
63				アンケートで得られた出張講座に対する要望:「読み聞かせ」「おすすめの本の紹介」「本との出会い」「本の選び方講座」「読書感想文の書き方」を講座の内容検討に活かし、実施につなげる。			
63			学校図書館への学校司書の配置	学校司書連絡会への出席や研修講演等によるサポートを継続して実施する。	－	－	6-1-2に集約
64		6-3-4 青少年・大学生：若い世代が行きたいと思う図書館	魅力的な図書館環境	図書館を魅力的な場所に変えるために、新たに整備する四条図書館は居心地の良い空間とする。快適に過ごせる閲覧席を配置し、モダンなデザインを取り入れ、Wi-Fi環境を整備するなど、若者が心地よく過ごせる要素を取り入れる。	－	－	7-2に集約
64			多様な資料の提供	四条図書館では、若者の興味を引く資料を収集し、時代のトレンドを取り入れた棚づくりを行う。			
64			学習スペースの設置	資料閲覧を目的とした座席の利用に限らず、学習のためのスペースを設けることを検討し、若い世代が滞在できる環境を整える。	永和・花園：自習席設置のための準備（場所・運用方法など検討）	花園：閲覧席の一部を自習席として運用。	
65			大学等との連携	学校や大学、若者の集まるコミュニティと連携し、興味関心のあるプログラムの実施や、図書館の利用案内等を行う。 大学に出向き、まずは図書館・電子図書館サービスの存在を知ってもらうことで、利用の促進を図る。	－	－	6-1-2、6-2-4に集約

掲載頁	大項目	中項目	小項目①	小項目②	令和6年度実施状況	令和7年度以降の予定	備考
65	6-3 各世代へのサービス	6-3-5 就業者：ビジネスパートナーとしての図書館	閲覧環境の充実	ビジネスマンが図書館で過ごしやすい環境を整備するため、現状のスペースの中でどのように実現できるのか検討する。	夜間を中心に商工会議所等とも連携して、講座、勉強会、交流会等の実施について検討する。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
66			仕事に役立つ資料の収集・集約	「はたらく」を観点としたテーマ配架や、ニーズを含めて情報収集を強化し、永和図書館で集約して提供する。	当館スタッフのビジネスリテラシーの涵養のための方法を検討する。商工会議所との連携を強化し、様々な情報集約方法の構築を検討する。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
66				情報収集支援ツールの提供として、ビジネス情報リストや記事索引、レファレンスの事例、パスファインダー等を整備し、提供する。	当館スタッフのビジネスリテラシーの涵養のための方法を検討する。商工会議所との連携を強化し、様々な情報集約方法の構築を検討する。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
66				専門資料でデータベースの基本的な使い方や、便利なツール・活用法、インターネット上での信頼性の高い情報の見分け方等について、講習会を定期的に開催する。	データベースや様々なツールの使い方、利用法についての勉強会の開催に向けて検討を進める。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
66			大学図書館との連携	大学のまち東大阪に暮らすメリットを市民が享受できるよう、大学での公開講座や科目等履修制度等の有益な情報、大学の発信する情報を積極的に収集し、市民の学びに役立つ情報を提供しよう努める。	－	－	6-1-2に集約
67			専門職員によるレファレンス	ビジネス専用のレファレンスコーナーに担当の職員を配置し、ソーシャルビジネスを含む様々なビジネスの課題解決を支援する。それに必要なスキルの習得や、人材の確保をどのように実現していくのか検討する。	当館スタッフのビジネスリテラシーの涵養のための方法を検討する。また、より専門性を高めるために当館スタッフのビジネスライブラリアン取得に向けて検討する。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
67			「はたらく」につながる専門機関等の情報提供	「はたらく」につながる様々な専門機関の資料・情報等を専用コーナーにて提供する。	商工会議所との連携を進めて、各団体・企業から関連資料を入手する道筋を検討中。また、商工会議所主催のイベントに関連する資料の展示の実施に向けてその方法を検討中。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
67			休日サービスの柔軟な導入	専門機関等の情報提供や、ビジネス関連プログラムなどにおいては、休日でのサービス実施を行い、ニーズに沿って開催時期や頻度を調整する。	左記のサービス実施のために、当館スタッフのビジネスリテラシーの涵養を促進すると共に、商工会議所との連携をより深めていき、利用者のニーズに合ったプログラム、サービス等の検討をする。	左記の件のつき、具体的に実施できるようにその方法を構築し、実施する。	
67		6-3-6 高齢者・障害者等：図書館はどなたの心にも寄り添う情報拠点	バリアフリー図書充実・宅配サービス	必要とする方のために大活字本や点字図書を充実させ、他にもLLブック・デージー図書の収集等、その資料の存在をアピールしながら利用を促進する。	伊藤忠記念財団の「わいわい文庫」を申し込み、マルチメディアDAISY図書の収集を図る。		
67				図書館への来館が難しい障害者や高齢者のために、施設への団体貸出や宅配等のサービスを実施する。出張図書館の拡充も行い、身近なところで市立図書館の本を利用できるよう努める。	－	－	6-1-2、6-2-3に集約
68			市内情報の提供	本市の多様な高齢介護サービスについて、パンフレット等を揃えておき、公共サービスの情報と併せて提供する。			
68				市の掲げる「高齢者が活躍するまちづくり」を推進する担い手として期待される地域の団体や、シルバー人材センター、老人クラブなど高齢者の参加を待っている団体の情報や、高齢者の関心が高いイベントの情報などを収集し提供に努める。			
68				高齢者等が自らの知識や技能、経験を活かして参画し協働することができるような図書館ボランティアの養成を継続して実施する。			
69	7-1 複合施設としての相乗効果	－	－	複合施設において相乗効果が生まれる環境づくりをめざす。			
70	7-2 四条図書館整備の考え方	－	－	新四条図書館の空間づくりやゾーニングについて検討する。			